

# SpectraView-V2

FFTアナライザを超える機能を簡単に実現  
データ収録・FFT解析ソフトウェア

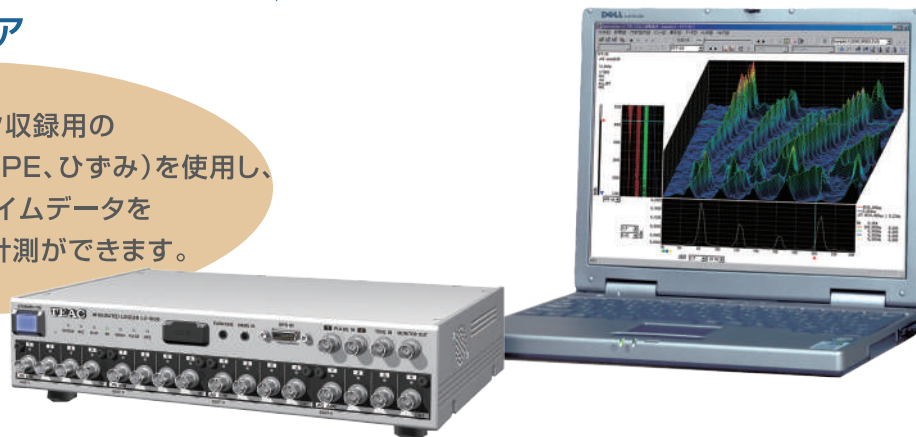
新製品

多チャンネル・多方向から簡単にリアルタイム収録

## FFTアナライザを超える

FFT解析ソフトウェア

振動データや音響データ収録用の各種入力アンプ(DC、IEPE、ひずみ)を使用し、最大128chのリアルタイムデータをDCから40kHz帯域で計測ができます。



収録ユニット LX-1000シリーズ

■SpectraViewは、電圧入力アンプ、IEPE入力アンプ(アンプ内蔵圧電型加速度センサ)、ストレインアンプを内蔵できる、LXシリーズとパソコンを組み合わせると、最大128chの振動、音響データをリアルタイムに収集、FFT解析を行います。各種試験データの収集やオーバーホール後の現地試験用聴きとして役立ちます。

■小型軽量の本体に内蔵した、8/16chから、拡張ユニットを接続して64ch、4台同期オプションで256chまで拡張でき、同時に多数のデータ測定ができ、作業の大幅な効率化が図れます。

LX-1000シリーズをダイレクトにコントロール/FFTアナライザを超える機能を簡単に実現

- マニュアル/タイム/ワンショット/リピートトリガを使用でき、3チャンネルのAND/OR条件を組み合わせると、幅広い分野で最適な試験データの収集ができます。
- リアルタイム表示は最大128chまでのT-Yグラフ、X-Yグラフ、バーグラフ、FFTグラフをシングル/マルチ(2~4段3分割)/クロス(上下2段4個)で表示できます。
- 測定データ呼び出して、T-Y、X-Y、FFT2D、FFT3Dグラフ、FFTカラーコンタグラフ表示、印刷、波形演算、フィルタ処理、アベレージング、音声再生、ファイル操作等、多彩な編集処理ができます。

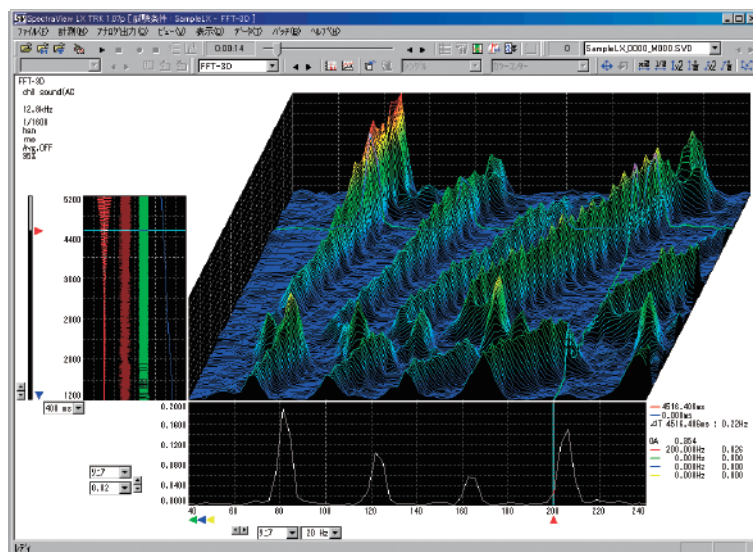


オプション

後処理

回転トラッキング解析  
ソフトウェア

FFT3Dグラフ(後処理)



# SpectraView V2

スペクトラビューは、TEACのレコーディングユニット「LXシリーズ」とパソコンを、IEEE1394またはEthernetで接続し、振動や音響データ等を収集しながら、リアルタイムFFT解析ができます。この度、多くのお客様のご要望を盛り込み、機能強化を行ないました。新製品の開発や機器保守作業、現地試験に役立つ、各種データの収録、解析用に活用できます。

## 特徴

リアルタイム計測、FFT解析用ソフトとして自動車、重電、家電業界や研究所で採用されています。

計測部	
サンプリングレート	LX-1000シリーズの仕様をご参照ください
トリガモード	マニュアル(手操作)、タイム(時間指定)、ワンショット、リピート
トリガファンクション	レベル/エッジ、3チャンネルのAND/OR
プレ・ポストトリガ	0~5000m sec、最大9999トリガ
ファイル作成モード	マニュアル(任意指定)、タイム(時間指定) トリガ指定(トリガ単位で作成)
PCカード/メモリーへの記録データの再生処理	LX-1000シリーズ本体で計測したデータをパソコンに転送、再生します

\*測定条件はロガーのレンジ設定と一緒に登録可能

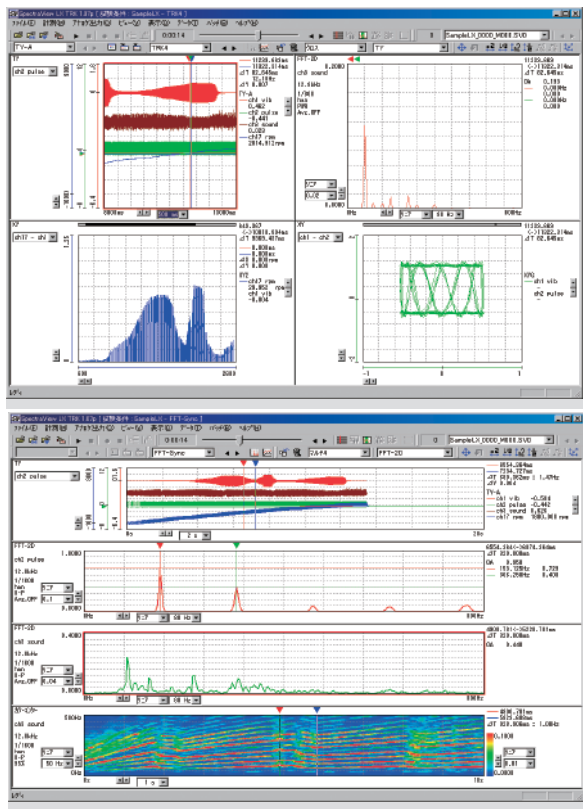
グラフの表示	
T・Yグラフ	128チャンネル同時表示(グループ登録可能)、rms表示可能
X・Yグラフ	128ライン同時表示(グループ登録可能)
バーグラフ	32本表示(計測時のみ表示可能)
FFTグラフ	最大4チャンネル同時表示(チャンネル切替可能)、ピーク表示可能
FFTカラーカウンター	最大4チャンネル同時表示(チャンネル切替可能)
FFT3Dグラフ	FFT3D+スペクトル+T-Yグラフ FFT3D+スペクトル+T-Yスペクトルグラフ(特定周波数)

\*各グラフを組み合わせて7種類(シグル、マルチ、加算)の表示形式を指定することができます。

FFT解析部	
周波数分析レンジ	サンプリングレートの1/2.56
フレーム長	64~32768
窓関数	レクタングラ、ハニング、フラットトップ、指数ウィンドウ
表示単位	power/peak/rms/p-p/dB
スケール	リニア/ログ
特性補正	A特性、C特性(計測時不可)
平均処理	ピークホールド、加算平均、指数化平均
時間領域関数	自己相関関数、相互相関関数
周波数領域関数	スペクトル、クロススペクトル、コヒーレンス、伝達関数

信号処理部	
波形演算機能	入力データを演算し、仮想チャンネルを作成 各種関数、定数を組み合わせ可能
データ抽出機能	ピーク、最大、最小、平均処理
フィルタ処理	ローパス、ハイパス、バンドパス
ファイル操作	任意区間切り出し(ファイル分割、トリガ分割)
音声再生機能	パソコンのサウンドカードで再生
バッチ処理機能	複数のトリガ計測データに波形演算処理やデータ抽出処理を連続して処理可能
データインポート	TAFFmat(TEACファイル形式)、CSV形式
データエクスポート	計測、演算、FFT結果をCSV形式に変換 TAFFmat形式出力 ダウンサンプリング

## リアルタイム/後処理グラフ表示例



- オプション
- 後処理トラッキングオプション
- 4台同期オプション

## 使用機器について

レコーディングユニット LX 1000シリーズ (※1) (※2)  
最大32チャンネル(本体16チャンネル+拡張ユニット)、同期オプションで128チャンネル

## ● 動作環境

使用OS	Windows 10
CPU	Corei5以上推奨
必要メモリー	8GB以上推奨
ハードディスク容量	(計測時間、チャンネルにより決定)
ディスプレイ	カラーXGA (1024×768) 以上
プリンタ	Windows対応プリンタ
インタフェース	LAN
ケーブル	LANケーブル

※1 LXシリーズの詳細仕様は、別途カタログを参照ください。

※2 後処理トラッキングオプションは、タコパルス入力を選択ください。

システム構成価格：お問い合わせください。  
セットアップディスク、取扱説明書(納入立会費用を含みます)

## SpectraView



LX-1000  
(タコパルス入力内蔵)

- 「LX-1000」の仕様については、別途資料をご参照ください。
- 使用するセンサ、センサアンプ、ソフトウェア詳細仕様については当社にお問い合わせください。
- 本文中の商品名は各社の登録商標です。本仕様はお断りなく変更することがあります。
- 当ソフトウェアの納入立会、個別改造については、当社にお問い合わせください。  
当社ではこの他、計測制御系の各種ソフトウェアの受託開発を行います。

開発元・ソフトウェアお問い合わせ先



株式会社ハビリス システム営業部  
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル  
TEL:03 (3769) 6291 FAX:03 (3769) 6285  
ホームページアドレス <http://www.habilis.co.jp>  
「SpectraView」お問い合わせメールアドレス [Sales@habilis.co.jp](mailto:Sales@habilis.co.jp)

仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。記載の社名及び商品名はそれぞれの各社の登録商標です。このカタログの記載内容は2020年6月のものです。

お問い合わせは

**注意**  
●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前必ず「取扱説明書」をよくお読みください。